

私たちの大切な水

秦野市立大根中学校

三年 鈴木 愛琳

私は、秦野で生まれ小さい時から秦野の水が身近にありました。学校の授業などで秦野の水についてより深く知ったことで興味を持ち、水の大切さやありがたみについて考えてみました。

私は、秦野の水の魅力や美味しさに気づいたきっかけがあります。私が小学生の時、水の授業で学校の水道水と外国の水を飲み比べたことがありました。その時に外国の水よりも学校の水道水の方が美味しく水にも味の違いがあることを知り驚きました。いつも何気なく飲んでいるこの秦野の水の美味しさや安全性などのいいところがたくさんあることを知り、改めて秦野の良さを実感しました。

今年の夏休みに郷土の良さを伝えるというテーマの国

語の宿題で、私は秦野の水について調べました。秦野には「竜神の泉」や「弘法の清水」など、たくさん湧き水スポットがあることを初めて知りました。自然豊かで緑がたくさんある秦野は「名水の里秦野」とも呼ばれるほど秦野の水はその美味しさが自慢で平成二十八年三月には「名水百選選抜総選挙おいしさが素晴らしい名水部門」で全国一位に輝きました。その「おいしい秦野の水丹沢の雫」を実際に飲んでみました。味はとても飲みやすく、なめらかで美味しかったです。そのとき私は水が特に美味しい地域に住んでいてよかったと思いました。そして、これからも水を大切にしていきたいと強く思いました。

世界では、「日本のように安全な水を必要な時に家で利用できる人は二十一億人、このうち一億五千万人は池や河川、用水路などの水をそのまま使っている」とユニセフの資料に書いてありました。私たちが生きていくには水は欠かせません。それは人間だけでなく、植物や動物も水は不可欠です。日本では蛇口をひねれば、いつも安全で透明な水が出てきます。ですが、世界では家で水が利用できないどころか池や河川、用水路などの

水をそのまま使っていることに衝撃を受けました。それだけではなく、「毎日八百人もの子供が汚れた水や不衛生な環境が原因で命を落としている」とユニセフのサイトに載っていました。私は、この作文を書く前までこのような状況にある国々のことや、三月二十二日の国連が決めた世界水の日、また八月一日の節水呼びかけのために制定された水の日があることを私は知りませんでした。なのでこのことをきっかけにこの二つの日は特に水の大切さを改めて調べ、考えるきっかけとし、自分自身にできることを積極的に実行するようにしたいと思いました。

私は、蛇口をひねればきれいな水が出るのが当たり前だと思っていました。ですが、世界では私が想像していた以上に水に不自由を感じている方々がたくさんいるということを知りました。SDGsにもある安全な水とトイレを世界中にという課題の重要性を実感しSDGsの目標達成に向け、自分たちができることをしていきたいと思っています。そして、普段自由に使える水への感謝の気持ちを忘れずに、これからも大切に使用したいと思います。